

雙葉中-対策法

国語 (100点/40分)

【1】【2006年出題内容】

2006年は、①随筆(伊集院静「きみとあるけば」約2600字)、②詩(「グラジオラス」2連19行)+解説文(青木宋「詩を作ってみよう 教科書にでてくる詩や文の読みかた・つくりかた」(約1200字)、③短文作り、④誤字訂正、という内容でした。

例年通り、読解と詩、言葉のきまり、漢字という構成です。読解(心情把握)と詩についてはほぼ記述であり、2006年は記述量が倍増しました。しかも、言葉のきまりと漢字についても、下に掲げた問題のように、ただ知っているだけでなく、使いこなすレベルを要求していますから、まぐれで合格することはほとんどないでしょう。

＝
A～Cについて、()内の三語を使って文を作りなさい。ただし次の注意にしたがうこと。

- ・一文か二文で書くこと。
- ・語の順番は自由。
- ・必要なら語の形をかえてよい。
- ・語の横に――線を引くこと。

(例) ()ばむ・やむをえず・必死 ()

彼は委員を引き受けることを必死になって()ばんだ。そこで、()やむをえず選挙をやり直すことになった。

- A ()軽視・見きわめる・あらかじめ ()
- B ()助けふね・すかさず・けれども ()
- C ()ひときわ・さながら・かきたてる ()

㊦

次の文中の漢字で、間違っているものには×をつけて右横に正しい漢字を書きなさい。また、文中に間違った漢字が一つもない場合には、その文の番号を○で囲みなさい。

- | | | | |
|---|--|--|---|
| <p>9 海の塩風に吹かれて異国に思いをはせる。</p> <p>10 島での暮らしは以外に快的だった。</p> | <p>7 キリストの教えを先生がわかり易く解く。</p> <p>8 わが社に不可欠な人材を育成する。</p> | <p>4 優勝の目標をもって大会に望みたい。</p> <p>5 純心な子どもの頃に戻りたい。</p> <p>6 薬の服作用で内蔵が弱る。</p> | <p>1 好評だったため展覧会の会期が伸びる。</p> <p>2 電気器具の点検をしよう。</p> <p>3 登山クラブの責任者を勤める。</p> |
|---|--|--|---|

【2】【 傾向と対策 】

雙葉の試験時間は、多くの中学校より少なく、40分しかありません。一問あたり3～5分しかありませんから、簡潔かつ的確な記述力が必要です。記述について字数制限はありませんが、思いついたことを適当に並べただけでは得点に結びつきません。

雙葉の記述対策には、自分で文章の組み立てを考えて実際に書き、それを自分で読んで論理が通っているかどうかを検証する訓練が有効です。頭の中で考えていることを文章に書き出してみると、客観的に自分の頭の中を見ることができます。頭では論理的だと思っても、書き出してみれば筋が通っていないことがしばしばあります。これは辛い訓練ですが、選択問題の多い問題を何題解いても麻布には合格することはできません。また、授業でやった問題をやりっ放しにするのもいけません。まとまった文章について、自分自身の頭で考えて要約文を書く訓練が必要です。

そのためには、まず、書くことに慣れましょう。最初のうちは書いたものを先生や親に読んでもらい、論理的かどうかを指摘してもらうのがよいでしょう。書くことに慣れてきたら、次は書き直してみましょう。書き直して筋が通るようになれば、雙葉合格まであと一歩です。最終段階では、本文からキーワードを抜き出し、それらを組み合わせて論理的な文章を書いてみましょう。試験時間60分はあまりにも短いですから、時間内で解き切るには、自在な表現力・論理力を身につけておく必要があります。

雙葉記述 対策法



解きっぱなし・読みっぱなしにしない

⇒まずは要約文を書くことに慣れましょう

⇒論理的にまとめられているかどうか先生や親に見てもらいましょう



自分が書いた要約文を書き直してみよう



本文からキーワードを抜き出し、それらを組み合わせて論理的な文章を書いてみましょう



雙葉の問題が早く解ける！

【3】【 雙葉国語 合格への道程 】



合格可能性 80%



合格可能性 50%



合格可能性 10%

偏差値 (四谷) 君の学年	51~55	56~60	61~65	66~70
5年生の2学期				
5年生の3学期				
6年生の1学期				
6年生の2学期				

雙葉の 80%合格圏(4科)は、四谷大塚で偏差値 66 以上、センター模試で偏差値 63 以上、サピックスで偏差値 56 以上、が目安です。

雙葉では算国の配点が高いので、算国で勝負をかけざるを得ません。また、記述だけでなく、漢字・語句も含めて、まぐれで正解することはできません。ですから、早い時期から国語の成績を安定させることが雙葉合格には大変有効です。国語には正攻法があります。詳しくは、

⇒ [永田先生\(日能研\)の国語教室](#)

⇒ [国語偏差値20アップ学習法](#)

を参照してください。